

和歌山県立医科大学 外科学第2講座

私達の教室は、患者さんに最良かつ最新の手術、治療を提供できるよう日々精進しています。そのために、最も優れた標準治療を提供することはもちろんのこと、それより有効な治療であると考えられる臨床研究を多数提供しています。担当する領域は、消化器外科を中心とし、内分泌外科、小児外科、および一般外科です。教室内は上部消化管グループ、下部消化管グループ、肝胆膵グループ、小児外科グループで構成されており、食道癌、膵臓癌、肝臓癌などの高難度の手術を得意分野とし、また、胃癌、大腸癌を中心として各臓器疾患の低侵襲手術、鏡視下手術を推進しています。手術件数は、例年、ほぼ1,000件の全身麻酔下手術を行っており、多数の日本肝胆膵外科学会高度技能専門医および日本内視鏡外科学会技術認定医を有することが当教室の特徴であり、患者さんに安全で高度な手術を提供することが可能です。また、癌患者さんに対する抗癌剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬などの免疫治療などを積極的に行い、集学的に癌治療を行っています。

入局希望の方へ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、入局希望者を募集しています。当教室に入局された場合には、下記に示します和歌山県立医科大学外科専門研修プログラムに沿って研修を開始します。

和歌山県立医科大学外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

本研修プログラムは和歌山県立医科大学付属病院と連携施設（15施設）により専門研修施設群により構成しています。その中でも、当科の関連施設は和歌山県下および大阪府下の地域の基幹病院を中心に多数あることから、卒後臨床研修終了後から卒後5年目まではいずれかの施設に勤務し、外科学の基本を習得するとともに、外科専門医、消化器外科専門医の取得に必要な臨床経験を得る事が出来ます。

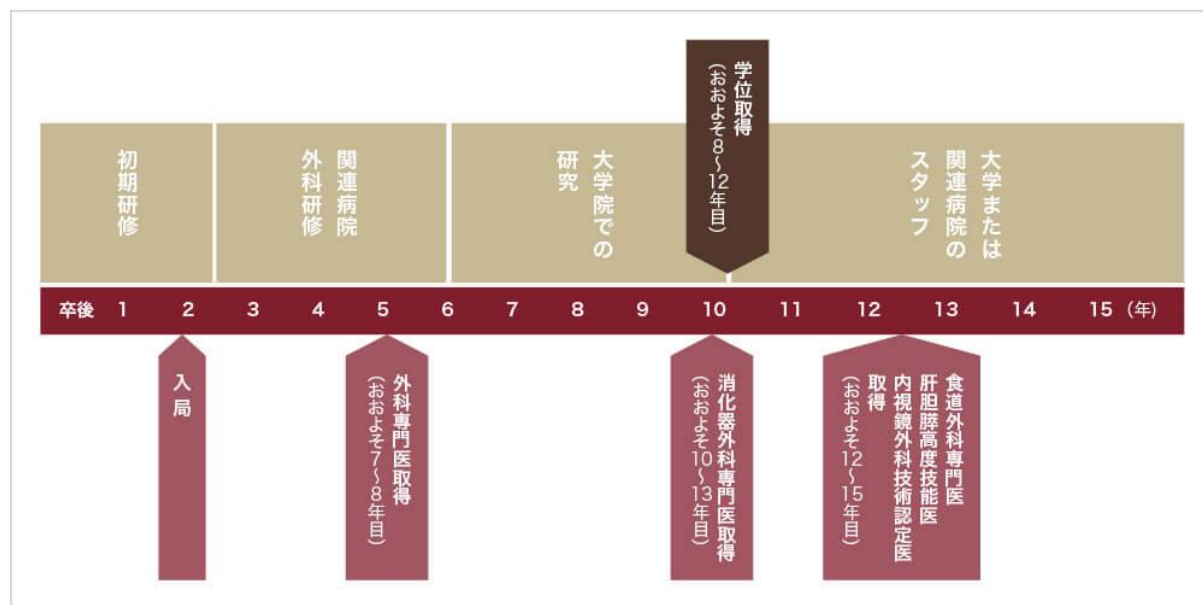
当科での外科研修の特徴

私たちの教室では肝胆膵外科、上部消化管外科（食道、胃）、下部消化管外科（小腸、大腸、肛門）、小児外科、内分泌外科（甲状腺、副腎）、一般外科（後腹膜、ヘルニア等）を担当しており、年間約 1000 例の手術症例があります。新規入局者には、これらの種々の疾患を専門医の指導のもとで研修を有意義に行なってもらいます。

当教室の研修カリキュラムは、研修医の達成度に応じた最適の病院を選択することにより、効率的に研修を行うことができることが最大の特徴です。地域の基幹病院での研修を終えたあとは、大学院生として、帰学します。大学病院にて各臓器に特化したチームに配属され、専門分野での経験を積むことができます。学術研究の分野では、学位取得を目指し、基礎研究を始めます。当科での基礎研究は、腫瘍免疫学や分子生物学を中心に行っており、希望に応じたカリキュラムの中で学位取得を目指します。また、小児外科を希望される先生には、国内外における小児外科専門施設における臨床研修を継続することも可能です。

学位取得後は、大学病院で各臓器チームの一員として勤務する場合や、関連病院スタッフとして勤務する場合があります。また、希望により海外留学をすることも可能です。

新しく専門医制度が始まりましたが、当教室は、多くの関連施設を有しており、それらの基幹病院と連携して外科・消化器外科の専門医育成プログラムを実施することが可能です。



卒後 4~5 年目は地域の基幹病院で消化器外科医としての十分な経験を積みます。その間は消化器外科のみならず救急手術や一般外科の手術も担当します。

外科学第 2 講座は和歌山医大で最も多くの関連病院を有しており、後期研修に十分な症例数が 2 年間で経験できます。

その後は基本的に大学院に進学し、外科研究を行う中で臨床医学の考え方を学びます。基礎的研究ができる外科医は将来にわたり、優れた外科診療ができます。したがって、

大学院進学を強く薦めます。大学院期間中は研究の傍ら、関連病院へ非常勤医師として勤務することで十分な経済的な支援が得られます。

小児外科を目指す医師は日本で最も症例数の多い小児専門施設に国内留学することで小児外科専門医が取得できます。その他、消化器外科領域における国内・国外の先進的な施設への研修や派遣を随時行っています。

学位取得後は、研究分野によってはアメリカの先進施設に留学してさらに進んだ研究を行うことを奨励しています。大学に残り消化器外科専門医として外科診療に従事する医師は、後輩の臨床指導・研究指導にあたるとともに自らの臨床研究の成果を国際誌に論文発表します。また、和歌山県内および大阪府南部の多くの基幹病院に赴任し、外科診療にあたります。

以上のように、和歌山県立医科大学外科学第 2 講座ではみなさまのいろいろな希望が叶うように、卒後長きにわたって真心こめて支援いたします。

詳しくは、当科の HP でお知らせしていますので、興味があればご覧ください。

<https://wakayama-med-2ndsurg.jp/>

医局見学をご希望の方へ

入局希望者あるいは質問、相談等は、下記までお問い合わせ下さい。当教室に興味のある方は見学等も可能ですので是非ご連絡下さい。

(当科では、本学出身者と他大学出身者は全く分け隔てありません)

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第 2 講座

担当：医局長 中村 公紀

TEL：073-441-0613 FAX: 073-446-6566

E-mail：srg2@wakayama-med.ac.jp